

『三人姉妹』



2013年10月24日（木）～27日（日）あうるすぽっと
主催：華のん企画

◎山崎清介がチェーホフシリーズ初出演！

山崎清介がチェーホフシリーズの脚本・演出を手掛けるようになって早6年、今回の『三人姉妹』の再演で初めて出演者として舞台に立ちます！役は姉妹を可愛がっている、軍隊の老医師チェブトゥイキン。様々な人生経験を積んできたからこそ出てくるシニカルな台詞が印象的な人物です。

さらに、新たに板倉佳司（オンシアター自由劇場でデビュー。「上海バンスキング」（1983）「オーカッサンとニコレット」（2010）などに出演）を姉妹の兄弟アンドレイ役に迎え、2011年初演時とは一味も二味も違った作品になるのは間違いなし。一度観た方も見逃せません！

また、三人の姉妹は“子供のためのシェイクスピア”シリーズでもおなじみの伊沢磨紀（青い鳥創業）と、佐藤あかり（俳優座）、吉田妙子（新国立研修所2期生）が演じ、ナターシャには竹下明子、ヴェルシーニンに福井貴一、その他戸谷昌弘、若松力など今回も魅力あふれる顔ぶれがそろっています。

◎山崎清介が描くチェーホフは、面白く、切なく、刺激的だ

2011年の初演時はお客様から

- ・完成度が高く格調高い見事な演劇！
- ・こんなに演出が良い古典劇はちょっと見たことがない。
- ・山崎清介の戯曲の台詞を大切にした脚本、出演陣の安定感ある演技力で、十二分に楽しんだ。

など、観終ってもなお興奮冷めやらぬ熱意のこもった感想を沢山いただきました。

山崎の演出は、原作に独自のアイデアを盛り込み、芝居ならではの見せ方やテンポを重要視したスタイリッシュなもので、その構成力と演出のさえは他に比べようがありません。本作『三人姉妹』では全登場人物をすべて舞台上に配し、その中で物語が進められるという緊張感あふれる演出が高く評価されました。

また、華のん企画の“チェーホフ”シリーズは、“子供のためのシェイクスピア”シリーズに出演している俳優が多く出演しており、彼らの演技力はもちろん、一つの劇団かと思紛うようなチームワークの良さも魅力です。

山崎ワールドの『三人姉妹』は、今まで「難しい、つまらない」とチェーホフ作品を敬遠していた方や、初めてチェーホフを観る多くの方々に是非見ていただきたい作品です。

◎今だからこそ観てほしい『三人姉妹』

チェーホフ四大戯曲のひとつである『三人姉妹』は、1901年にチェーホフが初めてモスクワ芸術座のために書き下ろした戯曲で、日本でも数多く上演されています。

100年以上前の作品にも関わらず、描かれている姉妹たちの姿は現代の私たちと重なります。理想と現実とのギャップ、こんなはずではなかったのにといい思い、いつの間にか「生活」に押し流されてしまう希望にあふれていたはずの未来…。

私たちはロシアの地方都市に暮らす姉妹たちから、日常に起こる出来事を通じ、自分たちの思うように進まない現実の中でも生き続けていく強さを感じるのです。

日本の現代社会で様々な状況に置かれ、理想と現実のギャップに悩んでいる人、現実を受け入れて強く生活を送っている人々に今まさに届けたい作品です。

～三人姉妹あらすじ～

ロシアの地方都市に暮らす三姉妹。長女のオーリガは独身のまま教師をし、次女のマーシャは地元の教師と結婚したものの満たされない毎日を送っていた。そして三女のイリーナは働くこと、モスクワで生活することを夢見ていた。三人の兄弟アンドレイは大学教授になる望みを抱き、土地の娘ナターシャに恋をしていた。

姉妹たちの住む町には軍の連隊が駐屯していて、亡き父が大佐だった姉妹の家には毎日のように軍医や将校たちが訪れていた。ある日、連隊にモスクワからヴェルシーニン中佐が赴任してくる。マーシャはヴェルシーニンに惹かれはじめ、イリーナもまた二人の軍人から愛を求められるようになる。やがて連隊が町を去る日がやってきて・・・。

次頁に公演概要を記しますので、是非貴誌にお取り上げいただきたくお願い申し上げます。

また、演出家、出演者への取材もお受けいたします！是非稽古場にいらしてください。

- ◆稽古期間：9月29日（日）～10月5日（土）スタジオK（西武池袋線 江古田駅 徒歩約5分）
10月7日（月）～10月19日（土）サイスタジオ大山（東武東上線大山駅 徒歩1分）

※「三人姉妹」初演時の写真・映像資料をご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。



問合せ先 華のん企画 千葉

〒175-0092 東京都板橋区赤塚 1-5-10-16

TEL : 03-5967-1217 FAX : 03-5967-1218 E-mail : chiba@canonkikaku.com

2013/2014 あうるすぽっとタイアップ公演シリーズ
華のん企画プロデュース
『三人姉妹』

■作 アントン・チャーホフ

■翻訳 松下裕

■脚本・演出 山崎清介

■出演 竹下明子 伊沢磨紀 福井貴一 板倉佳司 戸谷昌弘
 佐藤あかり 若松力 加藤記生 北川響 吉田妙子 / 山崎清介

■スタッフ 照明：山口暁 音響：角張正雄 衣裳：三大寺志保美 美術：松岡泉
 演出補：小笠原響 舞台監督：久保健一郎 企画製作：華のん企画

■会場 あうるすぽっと（豊島区立舞台芸術交流センター）

■公演日時 2013年10月24日(木)～27日(日) 4回

	24 (木)	25 (金)	26 (土)	27 (日)
14:00		●		●
16:00			●	
19:00	●			

■チケット 8月19日(月)発売
 料金 全席指定(前売り・当日とも)
 一般5,250円
 学生4,500円 ※当日学生証提示
 シニア(65歳以上)4,500円 ※当日年齢証明提示
 豊島区民割引4,800円 ※あうるすぽっとチケットコールのみ取扱。要証明書提示。

取扱い 華のん企画チケットコール 03-6904-2448 (10:00～18:00 日・祝除く)
 あうるすぽっとチケットコール 03-5391-0516
 (10:00～19:00/3階事務所にて発売/郵送不可)
 チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード 430-467)
 イープラス <http://eplus.jp/> (パソコン&ケータイ)
 CoRich 舞台芸術! パソコン <https://ticket.corich.jp/apply/46639/>
 携帯 <http://ticket.corich.jp/apply/46639/>

■共催 あうるすぽっと(公益財団法人 としま未来文化財団)

■主催・問合せ 華のん企画 TEL: 03-5967-1217
 〒175-0092 東京都板橋区赤塚 1-5-10-16
<http://www.canonkikaku.com/>